

研究報告

【2019年度～2023年度】

教員名	馮 一峰
所 属	国際文化学部
学 位	修士
専門分野	理論言語学、比較統辞論
研究テーマ	名詞句構造、省略現象など
所属学会	日中対照言語学会、日本言語学会、上智大学言語学会、東アジア国際言語学会、日本比較文化学会、日中翻訳協会
研究活動 及び 社会活動	<p><u>研究論文</u></p> <p>2020年3月 『『恵まれる』構文の特異性』、馮一峰、『言語と文化』第14号、pp. 43～52</p> <p>2022年1月 「日本語と中国語における『一』の機能について」、馮一峰、『東アジア国際言語研究』第3号、pp. 78～89</p> <p>2022年3月 「日本語における名詞転換動詞及び自動詞化について—『恵む』と『恵まれる』を中心に—」、馮一峰、『北洋大学紀要』第1号、pp. 17～27</p> <p>2023年1月 「構文的重複語の再検討—日本語母語話者を対象とした容認度調査を通して—」、藤田航輝・馮一峰、『東アジア国際言語研究』第4号、pp. 143～153</p> <p>2023年3月 「構文的重複語の中国語訳について」、馮一峰・藤田航輝、『さいたま言語研究』第7号、pp. 121～135</p> <p>2023年3月 「中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付けについて」、馮一峰、『北洋大学紀要』第2号、pp. 53～68</p> <p><u>学会発表</u></p> <p>2019年12月 『『恵まれる』構文の特異性』、馮一峰(日中対照言語学会第42回2019年度冬季大会(於大阪産業大学梅田サテライト))</p> <p>2021年7月 「日本語と中国語における『一』の機能について」、馮一峰(上智大学言語学会第35回年次大会(オンライン))</p> <p>2021年9月 「日本語と中国語のアスペクト解釈位置と『一』の機能について」、馮一峰(日本比較文化学会北海道支部設立総会(於北洋大学))</p> <p>2022年5月 「中国語受動文の事象構造分析」、馮一峰(日中対照言語学会第46回大会及び2022年日中対照言語研究国際シンポジウム(オンライン))</p> <p>2022年7月 「中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付けについて」、馮一峰(日中対照言語学会2022年7月月例会(オンライン))</p> <p>2023年2月 「日本語と中国語における1人称及び3人称空項について」、馮一峰(東アジア国際言語学会第10回大会(オンライン))</p> <p>2023年5月 「構文的重複語の中国語訳について」、馮一峰(日本比較文化学会第45回全</p>

国大会 2023 年度国際学術大会(於北洋大学))

学会活動

2021 年 8 月 日本比較文化学会北海道支部広報（現在に至る）

2022 年 9 月 日中対照言語学会特集編集委員会委員（現在に至る）

社会活動

2022 年 4 月 京都府日中友好協会青年部委員（現在に至る）

2023 年 6 月 25 日 第 58 回中国人殉難者全道慰霊祭に参列

図書館講座

2021 年 6 月 2 日 「中国語で気持ちスッキリ」、北洋大学図書館講座『水曜夜会』

2021 年 7 月 7 日 「ニイハオ・中国」、北洋大学図書館講座『水曜夜会』

2021 年 10 月 27 日、11 月 10 日、11 月 17 日 「ニイハオ 北洋大学」、北洋大学図書館講座『秋の夜長の飽きない講座』

市民講座

2021 年 11 月 25 日 「市民講座『陰陽思想』が中国と日本の言語と文化に与えた影響」、苫小牧市文化交流センター（アイビー・プラザ）

2023 年 4 月 13 日、4 月 27 日、5 月 11 日、5 月 25 日、6 月 8 日、6 月 22 日、7 月 13 日
北洋大学の外国語コーナー(市民と北洋大学全学生向けの語学コーナー)